

「オウム返し」は特効薬

一色町内で 緩和ケアの勉強会 まず医師の話「傾聴」

いずれも「色町の神谷内
科整形外科とデイサービス
に聞くんです」と、「リビ
ング・ウィル」という専門
用語をやさしく解説。
また、神谷さんは、一年
に4回入院を繰り返して
いた高齢男性が自宅へ戻っ
て散歩、入浴を慎重に進め
た結果、体調が好転した例
を数字やグラフで示した。

この日の勉強会テーマは
「在宅での緩和ケア」で、
はじめに今川裕規さん（い
まがわ じゆんき）が
「在宅での看取りを希望さ
れる人が多い中、在宅での
緩和ケアについて一緒に考
えよう」とあいさつ。

このあと、仕事を終えて
駆けつけた約100人が、
神谷仁孝（神谷内科整形外
科）、宮崎仁（宮崎医院）
両医師のナマの声を「傾聴」
まず、前半を担当した神
谷さんは「私も訪問開
始時に『リビング・ウィル』
を確認している。『リビ
ング・ウィル』というのは、
生きていながらに自分自身
の治療に関する意思表明で、
どういった診療を希望し

まずスピリチュアルペイン
と時が。そういう患者さん
の存在を大切に生きて
意味を支える支援をスピリ
チュアルケア。
苦しんでいる人はどうし
てほしいかという、自分
の苦しみ分かってくれる
とうれしい。
それに対して我々は何を
するかという、こっちは
勝手な思い込みや説明をぶ
つけようとする、あるいは
何か聞かれたら答えよう、そ
ういう姿勢はそれはスビリ
チュアルペインの処方箋に
はならない。

自分の存在と生きている
意味が消えそうだと、とい
うところから来る痛み、苦し
み。
だからいいのは苦しんで
いる人自身が分かってくれ
た、という風に思うようにな
らなければならない。

「オウム返し」す
るのも其感をもって「オ
ウム返し」をしたい。
どうしても我々はせつか
ちで沈黙に耐えられなくな
って、いらんことを言っ
てしまふ。

自分の話の聞き方として
良い応答が出来た時、患者
さんは何とかがいらい、
こういふ。「そうなんです
よ」。
あなたなら出来る、だっ
て聞くだけだから、誰で
も出来る。ましてやそうい
う知識や経験を持っている
みなさんなら必ず出来る。
ぜひともこの地域の緩和
ケアのレベルを上げよう。

なお、次回の第5回勉強
会は年明けに予定。



写真は7日、一色町対米のデイサービスはあとで行われた「在宅での緩和ケア」をテーマにした勉強会より

コミュニケーションの技術
を私たちは身に付けないと
いけない。
これには正解はないが、
言われているのが「傾聴」
と「傾聴」で、相手の苦し
みに焦点を当てて聞いてあ
げる。

（そこで苦しんでいる人
に対しては言葉を）反復す
るといい。秘技「オウム返
し」。おはあちゃんに「こ
の左手がジンジンビリビリ
痛んでますよ先生」と言わ
れたら「ああ、そうですか
左手がジンジンビリビリ痛
んでますよ」と言えはいい。
「そうなんですよ、先生よ
く分かってくれた」となる。
当たり前、「オウム返し」
をしたら、それが反復の
テクニック。

ただ、「オウム返し」す
るのも其感をもって「オ
ウム返し」をしたい。
どうしても我々はせつか
ちで沈黙に耐えられなくな
って、いらんことを言っ
てしまふ。

自分の話の聞き方として
良い応答が出来た時、患者
さんは何とかがいらい、
こういふ。「そうなんです
よ」。
あなたなら出来る、だっ
て聞くだけだから、誰で
も出来る。ましてやそうい
う知識や経験を持っている
みなさんなら必ず出来る。
ぜひともこの地域の緩和
ケアのレベルを上げよう。

なお、次回の第5回勉強
会は年明けに予定。

在宅ケアでスクラム

勉強会開きノウハウ共有

一色町の今川さんと神谷さん



デイサービスはあとで開かれた第4回勉強会

西尾市一色町にあ
る「デイサービスはあ
と」代表の今川裕規さ
ん(44)と「神谷内科整
形外科」院長の神谷仁孝
さん(41)は、より良い
在宅医療・ケアを目指し
て医師や訪問看護師、ケ
アマネジャー、ヘルパー
など多職種でノウハウを
共有する勉強会「西尾市
「はあと」在宅ケアチー
ムカンファレンス」を
行っている。
在宅医療・ケアで患者
や利用者だけでなく、家
族の負担も大きな課題に
なっていると感じた今川
さんは「二年前、神谷
さんに「地域の在宅医療・

一日一書

西尾市 杉山 青苑



楚 楚

清らかで美しいさま、
うつくしい、かわいら
しい、エレガント、なん
ですばらしい、ステキ!!と
きれいか、美しいとか
のひとことかをかけられ
る。ドキと上へいくつ
になってもうれいもの
のだ!!ステキな機織り
りかたをしたくない

この時はケアマネ
ジャー、看護師、介護福
祉士、理学療法士、柔道
整復師、社会福祉士、医
師など五十四人が参加
し、「慢性疾患(心不全)
をもつ超高齢者を自宅で
見続けるには」をテーマ
に神谷さんが話した。
第二回(昨年六月)は
「在宅での看取り」と題
して八十二人、第三回(昨
年十一月)は「事前ケア
計画」患者の希望により